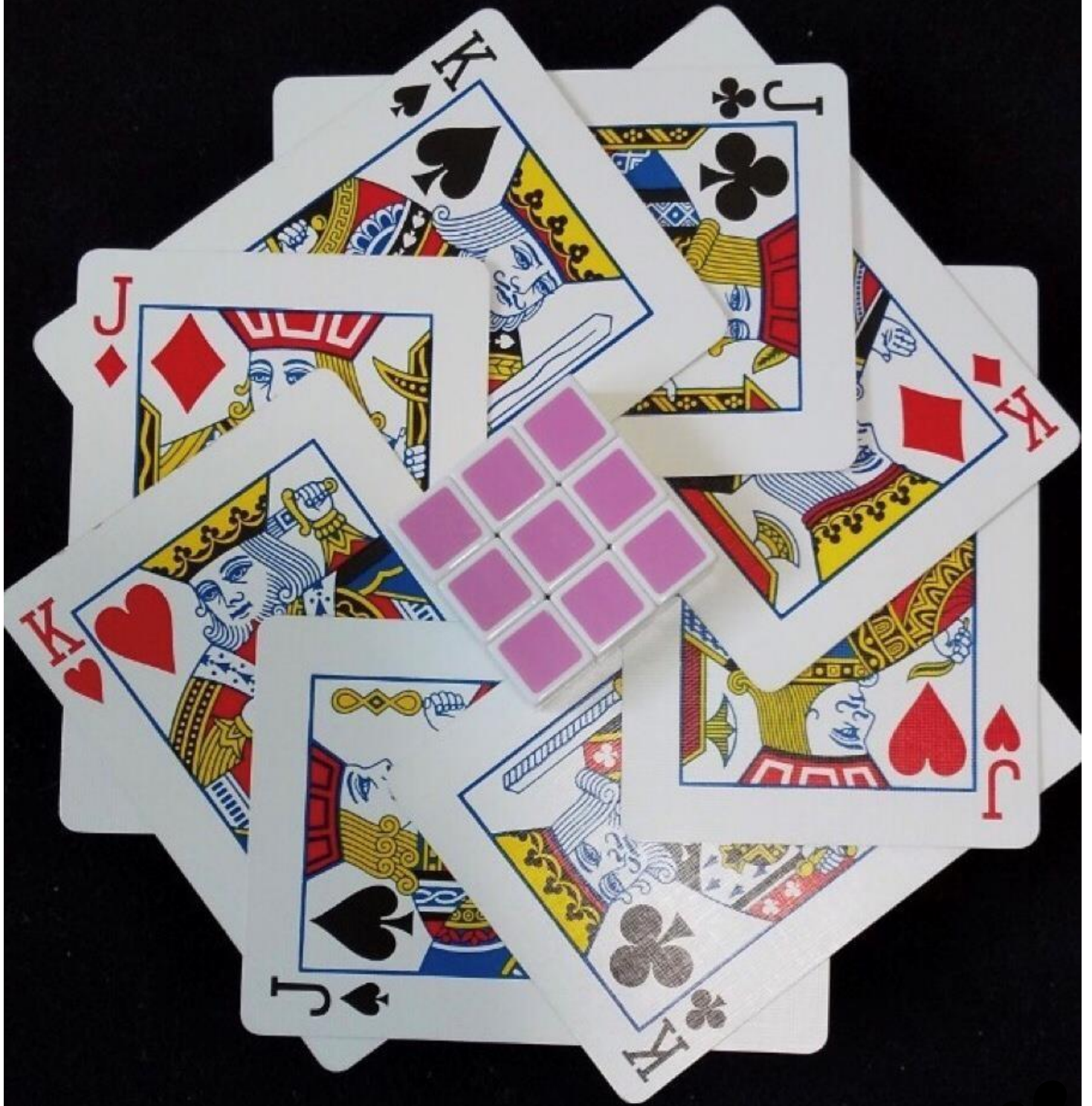


NADA MAGIC CLUB



2022

部長挨拶

皆さんこんにちは。部長の岩本です。今日は我々のパフォーマンスをご覧頂き、誠にありがとうございます。

毎年ご好評を頂き、何度もクラブ・サークルグランプリを受賞しているこのクラブですが、その功績に甘えることなく、常に新しい事に挑戦して今年も更にレベルアップしたパフォーマンスをお届け致します。

今年度の文化祭は去年と同様に入場制限こそあるものの、実地開催をすることができました。文化祭を開催するために尽力してくださった文化委員の方々や教員の方々にこの場を借りて感謝申し上げます。

このマジカル同好会に足を運んで頂いたあなたには、「ここに来て良かった」と思える素敵な時間、一度きりの体験をお約束します。クローズアップサロンどのマジックでも非日常の不思議、感動をあなたにプレゼント致します。

尚、我々はHP、Instagram、Twitter でも活動しています。動画ならではの感動も沢山の方に味わって頂きたいですし、活動の様子の発信等もしています。リンク、ID は下にありますのでフォローや紹介等して頂けると励みになります。応援よろしくお願い致します。

長くなりましたが、以上で部長挨拶とさせていただきます。どうか我々の Magical・World を最後までごゆっくり、そして存分にお楽しみ下さい。

Twitter ID : @Nada_Magic_Club

Instagram ID : @nada_magic_club

公式 HP リンク(下の QR コードからでもご覧いただけます。)



<https://nadamagicclub.wixsite.com/-site>

目次

部長挨拶	p.1
目次	p.2
マジカル同好会って どんなクラブ？	p.3
部員紹介	p.5
マジックという芸能について	p.9
マジック Q&A	p.10
世界のマジシャン	p.11

マジカル同好会ってどんなクラブ？

ここでは我々灘校マジカル同好会(灘校生はマジ同と呼んでいます)の実際の活動等にも触れながらこのクラブがどんなクラブなのかについて書きたいと思います。

まず、普段マジ同は何をしているのでしょうか。といっても答えは至って単純で「練習している」としか言いようは無いのですが、その中身について少しお話ししたいと思います。その性格上個人練習が中心にはなりますが、当然クラブである以上それだけではありません。普段は週一回皆で集まってマジックを見せ合って評価、アドバイスしあったり、難しいテクニックや「これいいじゃん！」なマジックの共有等をしていたりしています。今年に限って言うと、去年は嬉しい事に沢山部員が入ってきてくれたのでそんなフレッシュなマジシャンの育成に力を入れています。具体的には部内発表会を開いたりイベントを積極的に行うように心がけています。まずは新型コロナウイルスの蔓延により惜しくも中止となった、マジカル同好会として校外の人と交流活動していたイベントをご紹介します。

2019/08/31

RIC サマーイブニングカーニバル

マジ同は毎年六甲アイランドで開かれているこのとても大きなお祭りに参加させていただいています。RIC サマカがどのようなものかは調べていただければ写真もたくさん出てきますのでここでは割愛します。マジ同はこのRIC サマカの「やぐらステージ」に出演させて頂きましたそこでは先輩方がロープマジック等の大きなマジックやディアボロのパフォーマンスをしました。そしてなんとその後、外テーブルでお食事をされている方々に声をお掛けしてマジックを披露するという史上最高に緊張した出来事がありました。不安だらけでスタートしましたがお客様のテンションも高く非常に楽しいマジックが出来ました。去年、一昨年と二年連続サマーカーニバル自体が中止となり、非常に残念ですが今年の夏には開催できる状況になっていれればと願います。



2019/11/28 交流会

マジ同史上最も凄いイベントだったのではないかとと思われるイベントでした。というのもプロの中でも超一流のマジシャンの方と交流することが出来たのです！生でプロマジシャンを見る事すら初めての我々のもとに、なんとマジック界のオリンピックであるFISM日本代表の碓氷貴光さんと、色々な舞台で人を笑顔にしている「笑顔溢れる髭の魔法使い」まーくんさんのお二人がわざわざこの灘校までいらっしゃったのです！まだまだ未熟な我々はレベルの高すぎるプロのマジックを目の前で見て圧倒され、「ほえ〜」と良く分からない声を出しながら興奮していました

(書いてる今もちょっと興奮していてラフな文章になってしまいます)。すごく考えさせられる問い、非常に役に立つアドバイスや普段なかなか聞くことの出来ないマジックに関する疑問の答えなど、挙げだすときりが無いほど沢山の事を学びました。わずか数時間の交流会でしたが本当に濃い充実した時間でした。感謝の気持ちでいっぱいになりました！



2020/02/11 パストラル訪問

これは結論から言うと「パストラル尼崎」という老人ホームでマジックをして入居者様と交流を図るというものだったのですが、これがまたまたマジ同史上初めて(だと思われる)の事だらけでした。というのも今回はなんと①パストラルさんから直接お声掛け頂いたということ、②自分達と70歳以上も年の離れたお客様にマジックを見せるということで期待と不安の入り混じったドキドキでいっぱいでした。また、初対面のお客様にマジックを見せるのは今回が初めてだという部員もいましたが、本番は部内発表会等のおかげか全員楽しんでいました。そして何より良かったのは、今までの中で最もお客様に喜んで頂けたこと、そしてそれを感じられたことです。入居者の皆さんの本当にキラキラした笑顔を見られて、「マジックをやって良かった」、「マジックはこんなに人を笑顔に出来るんだな」と改めて実感した素晴らしい体験でした。



ちなみに。

パストラルさんからも部員からも大変好評だったようでその後もパストラルさんでマジック訪問を行う予定だったのですが、時世を鑑みてみて泣く泣く中止となりました。今後もパストラルさんと交流を続けて、コロナウイルス終息後にまた出演することができればいいなと思っています

現在は、感染拡大防止に努めつつ、モチベーションを保つためにイベント時を想定して部員同士でマジックを見せ合う部内発表会を定期的で開催しています。

部員紹介

ここではどこか遠い存在と思われがちな「マジシャン」という存在に少しでも親しみを持って頂くため、部員をユニークな(?)写真と共に紹介していきます。また

それでは我々マジカル同、紹介文の後ろには部員にした以下の質問への回答を載せています。

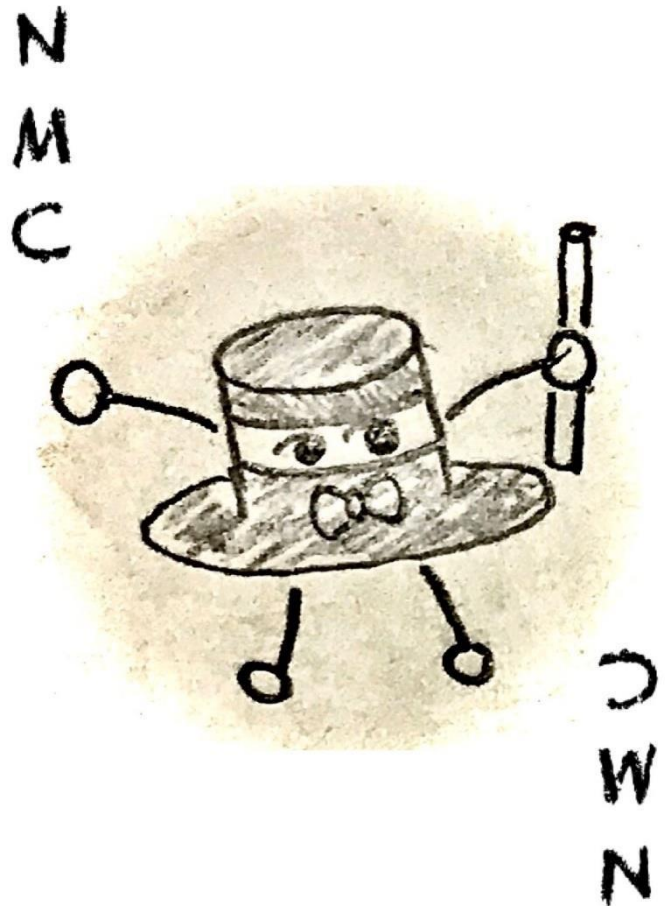
- ① マジ同に入った理由、きっかけ
- ② 他の部活や委員会活動
- ③ 好きなマジック
- ④ 好きな教科
- ⑤ チャームポイント
- ⑥ 僕のここを見て！
- ⑦ マジックの面白い所、好きな所

それでは初々しく、かわいいマジシャンから経験豊富なかっこいいマジシャンまで、色々なマジシャンの素顔を少し覗いてみましょう。

2020年に誕生したマジカル同好会公式キャラクターのまじぼう(仮)です。HPとかに登場してます。ただ設定もまだそんなに無く、あんまり活躍出来てないです。ぴえん。絶賛名前募集中です。詳しくはHP、Twitter等をご確認ください。あ、でも実は動画の最後に登場したりします。どうぞよろしくお願ひします!!

①高1のタイプG君が絵が上手くて、何か部誌に書いてほしいなあと思ってたところにキャラクターが欲しいということでタイプG君が書いてくれた原案を前部長のぶてふさんがいじって出来たそうです。

- ②当然マジ同一筋です！
- ③人が笑顔になれるもの！
- ④…学校はまだ行ってません。
- ⑤ポップで可愛いキャラ
- ⑥これからの活躍！ファン欲しいなあ。
- ⑦部員がみんな楽しそうにやってるのがいいですね。





高2のp r rです ついに部長になりました。写真は兼六園です。

- ①小学生の頃に見た文化祭でのマジックが美しかったから
- ②なし
- ③コインを使うマジック
- ④世界史
- ⑤ フットワークが軽いです
- ⑥お客様とマジックの面白さや魅力を話し合えたらなと思っています
- ⑦人が驚いているのを見るのはやっぱり楽しいです

高校1年 こまりゅうです。マジックを始めて三年ほど経ちますが、まだ未熟者です。よろしくお願いします。

- ①中学1年の時の文化祭で、マジックを見て、面白そうだったから。
- ②硬式テニス部
- ③スポンジボール
- ④なし
- ⑤後輩にも負ける背の低さ
- ⑥馴染みやすく、楽しいマジックの時間を過ごせます。
- ⑦マジックを習得していくうちに、奥深くなっていくところ。



高校1年森近です。

- ①昔からマジックが好きだった
- ②レゴ同好会、陸上部、美術同好会
- ③ストーリー性のあるマジック
- ④体育！！
- ⑤まつ毛(長いってよく言われます)
- ⑥圧倒的会話術
- ⑦人を騙しているのに楽しんでもらえるところ

高1の池田です。楽しめるように頑張ります。

- ①マジックってすごいなって思って自分でもやりたくなったから
- ②硬式テニス部
- ③ミリオンカード
- ④体育
- ⑤バランスが良い
- ⑥頑張って考えたので是非みてください
- ⑦全然見破れないところ



中1からマジックを嗜んでいます、いをぬです。同学年最古参、中学では最高学年なのでバッチリ決めたいところです（何を？）

- ①レクリエーションでのマジックに感動したから
- ②水泳部
- ③リセット
- ④古文
- ⑤特にな、疲れると三重になる二重
- ⑥手が小さい割に頑張ってるどころ
- ⑦トランプ一つやコイン一枚などの少ないものと、後は自分の努力だけでみんなを驚かせられるところ

中学3年府川です

- ①友達に誘われた
- ②一応バド部
- ③DPS
- ④体育
- ⑤くせ毛
- ⑥トランプ
- ⑦人を驚かして楽しく出来るところ



中学3年西村です

- ①オリエンテーションで先輩方のマジックをみて、種が知りたいと思ったから
- ②サッカー部
- ③ラストリック
- ④国語
- ⑤背が低いこと()
- ⑥トーク頑張ります
- ⑦成功した時お客さんが驚いてくれる所



はじめまして、中学3年のるんと申します。マジックは中学に入った時から始めました。マジ同最狂の24時間笑ってるようなやつですがどうかよろしくお願いします rO))

- ①何か一つ特技を作っておきたかった(芸は身を助くと言うので)
- ②柔道部とアニメ研究部、あと文化委員やってます
- ③アピアリングクーン
- ④全部壊滅してるけどしいて言うなら数学
- ⑤圧倒的ネタ枠適正
- ⑥技術については自分でも一流とは言えないので、僕だからこそできるトークの世界観を楽しんでもらえると嬉しいです。
- ⑦手元にある簡単な道具だけで非日常的な世界を生み出せるところ

中学3年のたみたみです

- ①たのしそだったから
- ②物理研究部、ディベート部、数学研究部、文化委員、中学委員
- ③小ネタ的なのが割と好きだったり
- ④物理
- ⑤特にな、、、喋っている時に身振り手振りをしてしまうところ
- ⑥大きな声を出そうと奮闘している所
- ⑦人にサプライズを与えられる



中学2年島田です

- ①部活紹介で面白そうだなあと思ったから
- ②バスケット部、クイズ同好会(幽霊部員)
- ③カードの瞬間移動
- ④数学
- ⑤中2なのに最高身長(先輩をディスってる訳ではないです…よ?)
- ⑥メインのマジックをしている途中にもする小さいマジック
- ⑦お客様がリアクションとってくれたときの快感

奥野です

- ①友達に誘われて行ったらめっちゃめっちゃ面白かったから。
- ②なし
- ③ダブルリフトに感動した
- ④物理
- ⑤落ち着きのない足
- ⑥緊張する顔
- ⑦技だけじゃなくて難しいところ

中学2年えーあーるです

- ①小学生の時のお楽しみ会の出し物でマジックを少しやっていて、それが楽しかったから
- ②水泳部
- ③レーザーディール
- ④英語
- ⑤眉毛とまつ毛…？
- ⑥お客さんとのフレンドリーな接し方
- ⑦現実世界でも「魔法使い」になれるところ

こんな個性豊かな部員達が皆こよなく愛する「マジック」。
今からそのマジック自体について少し皆さんにご紹介したいと思います。

マジックという芸能について

この記事は、その性質上あまり詳しくは語られない「マジック」という芸能を見る上で読んで頂くとより楽しめる、マジックの秘密やマジックに関する Q&A などについて、マジックの楽しさや不思議さを奪わないよう、いわゆる「タネ」には触れないようにマジシャンが書いたものです。もしそれも含めてマジックの世界を楽しみたい方やマジックを実際にやってらっしゃる方に向けた記事は、別冊の『[「マジシャン」になりたい君へ](#)』をお読み下さい。また、マジックと魔法の違いが分からない方はこの記事は読み飛ばしていただいた方がいいかもしれません。笑

マジックの世界の奥深さは恐らく大半の方の考える何十倍で、ここで書けるのはその本当に浅い表面部分だけですし、僕もその一部しか知らない初心者ですが、楽しんで頂けたらと思います。マジックを語る上で避けては通れないのが「タネ」に関する話です。そこで我々マジシャン側からマジックを見て頂くあなたに最初に是非伝えたいことが有ります。

それは

「ディズニーランドでミッキーの正体に触れるな」

という事です。つまり、マジックの楽しみ方はタネを見破るだけではない、という事です。これは必ずしもタネを見破るなという事ではありません。しかし、マジシャンはあなたを騙して嘲笑ったり、タネは何かというクイズを出しているわけではありませんし、当然勝負をしているわけではありません。タネがある事を前提としながらもどこかそれを忘れてしまうような非日常な不思議、魔法を体験してもらおう、そして笑顔になってもらおうとしてマジックをしているのです。平たく言えば「一緒に楽しむ」事が目標です。タネがあるという事が分かっている以上、それが気になるのは当然ですし僕も未だに分からないマジックのタネは気になります。ですが、だからと言ってマジック、その夢と魔法の世界を壊してまで暴いてもあまり良い事はありません。想像してみてください。気分が良くないのはマジシャンだけでは決してなくその行為は一緒に見ていた他のお客様の楽しさも奪いかねません。そして、何より、その人自身も一瞬スッキリしたような気

分になるかもしれませんが、その直後には気まずい雰囲気、やりきれない思い、後悔が残る事でしょう。そんな後にマジックを楽しめる人がいるのでしょうか。これ以上は書きませんが、何となく安易にタネを見破ろうとする事について

考えて頂けたかと思えます。当然その夢や魔法を信じさせる Magical World、そんな空間を作るのがマジシャンですし、その責任をお客様に求めるのはいささかおかしいですが、お客様がご協力下さればもっと楽しい魔法を生み出せ、お客様自身も楽しめるという事を念頭に置いて特に我々のような初々しいマジシャン、学生マジシャンのマジックを見て下さればと思います。

前置きが長くなりましたが、それではこれから皆さんに少しでもマジックに親しみをもって頂き、好きになって頂けるようにマジックに関する Q&A も含めてマジックについて語っていきたいと思いますが、その前にマジックという芸能をよく言い表す次の言葉を紹介したいと思います。

「ある料理人が魔法使いを演じた。彼のやったマジックはすごかった。小麦からパンが出来たのだ。」

偉そうに書きましたが、実は僕が勝手に考えた言葉です笑。しかし、残念ながらこの「マジックは料理」というアイデアは僕のものではありません(僕がこの発想に出会ったのは著名なマジシャンである前田知洋さんのセリフを聞いた時でした)。が、これは非常に端的に「マジック」について言い表していると思います。トランプやコインといった食材にそれぞれの調理をし、一つの料理を作る。その調理法を見せない事でそれはマジックとなるのです。夢を壊しかねないのでここではその調理法に関してあまり触れませんが、この事を頭の片隅に置いてこの記事を読むと分かり易いと思います。それではいよいよ Q&A です。皆さんによく聞かれる事をのせたつもりですが、他に気になる事がございましたら、お近くの部員に是非聞いてみて下さい。マジシャンの本音が聞けるかもしれません。笑

マジック Q&A

Q1.マジシャンってやっぱり器用なの？

A1.実はそうとも限りません。最初は一部のテクニックで上達のスピードが違ったりしますが、むしろマジックをしていくうちにトランプさばきなど、いわゆる「器用」な動きが身に付きます。つまり、「器用さ」と呼ばれるものはむしろ身に付くもので、素質ではありません。やはり練習が一番ものを言います。また、マジックは必ずしも手先のテクニックによるものではありません。お湯をかけて3分待つだけだとしても、それを美味しいといって食べる人がいるならそれは立派な料理です。良い食材を入手するのも、手間のかからないレシピを考えるのも料理人の腕。自分の個性を生かす。不器用ならそれを利用したマジックが出来るかもしれません。

Q2.一つのマジックを完成させるのにどれぐらい練習するの？

A2.正直マジックの難易度、する人のレベルによるので、一概には言えませんが、我々が文化祭でやっているようなマジックは当然一朝一夕で出来るものではありません。多くは半年～数年経験を積んできた部員が数週間、数ヶ月かけて練習したものです。勿論、完璧な作品ではないかもしれませんが、それでも確かにそれぞれなりの「練習」の成果であることは確かです。少し話がそれますが、マジック、少なくとも我々がするものは「器用だね」「タネ分かった」で終わるようなものでは決してありません。マジックは必ずしもタネを知れば出来るものではないということを知って、或いは改めて意識して頂きたいと思ったので少し話が逸れましたがこのことを書いておこうと思います。

Q3.するマジックはどうやって考えるの？

A3.先程の料理の例が非常に分かり易いのですが、コース料理を創るようなイメージなのではないかと思います。まず、こういったマジシャン、魔法使いになりたいか、こういったお客様をどうやって笑顔にするかといったところから考えます。その全体的な事、雰囲気考えた上で、軸となるマジックを決めます。これは大体トリのマジックになる事が多いのですが、自分が好きで得意なマジックやこれでお客様を喜ばせたいといったマジックです。そして、その次にそのマジックを引き立てたり、繋がりが感じられたりするような相性の良いマジックを考え、どう組み合わせるかを考えます。そのそれぞれのマジックに関しては一から考える場合もありますが、古典作品や、YouTube等で既存の作品からアイデアをもらうことが多いです。ただ、先述の通り、同じカレーでも家庭の味があるように全く同じマジックというのは存在しませんし、そういう意味では全てオリジナルと言うことも出来ます。

Q4.失敗しないの？

A4.正直に言うと、人間なのでミスする可能性はゼロではありません。ただ、文化祭等の場で、更に失敗してはいけな最初や最後のマジックは失敗の無いように、すごく難しいマジックは一般的には避けることが多いです。ただ、どうしてもそのマジックをしたかったり、する事によるメリットがとても大きかったりする場合は、ミスした時の対処をそのミスパターンそれぞれにあわせて考えたりもします。また、経験をある程度積むと、ミスがお客様にとっての「失敗」になる事は少なくなります。つまり、落ち着いて上手くりカバリが出来る様になります。

ここまで読んでくださってマジックに興味を持って頂けた方、もう少しマジックの世界を見てみたいという方に世界最高峰のマジシャンや僕の好きなマジシャンをご紹介しますと思います。マジック初心者は勿論、マジックをよく見る方も他のマジシャンとの差、マジシャンにとってもその美しい技術は必見です。尚以下に載せたマジシャンは全員「FISM」のチャンピオンです。

FISM というのは先述の通り全世界で 3 年に一度開かれる世界最大級のマジックコンテスト、いわゆる「マジック界のオリンピック」です。

・世界のマジシャン

Shin Lim(カナダ) FISM2015 カード部門 1位

ピアニストでもある彼のマジックは音楽とマッチした厳かでシリアスな雰囲気の中魔法を起こします。カードマジックの常識をはるかに超えた強烈な印象を残していきます。彼のFISM、AGTでのパフォーマンスは YouTube でも見る事が出来ます。本当に圧倒されます。また彼は YouTube にも沢山の動画を上げていてそちらでは彼の様々なテクニック、マジックを見られるのでそちらも是非。



Lennart Green(スウェーデン) FISM1991 カード部門 1 位

彼はその「近所のおじさん」的カジュアルな雰囲気のまますごい事を次々やってのけます。そのため笑いの要素も沢山含まれており見ていて楽しいマジックです。その独特さは雰囲気だけでなく、彼のマジックやテクニック自体もオリジナルで革新的なものを沢山生み出しています。余りにも不思議で誰も見た事が無かったそのオリジナリティ溢れたパフォーマンスは 1988 年の FISM でシャッフルさせたお客さんがサクラだったのではないかという疑いをかけられて受賞できず、1991 年同じ事を審査員にシャッフルさせてした結果優勝したという伝説を残すほど。こちら TED でのパフォーマンスを YouTube で日本語字幕でも見られるので是非。因みに最近日本のテレビでも見る高橋匠さんはこのレナートグリーン氏の愛弟子です。



Daryl(アメリカ) FISM1982 カード部門 1 位

カードマジックの王とも呼べるアンビシャスカードを好み、アルティメット・アンビションなどの進化したアンビシャスカードの新たな可能性を示してきました。起こる事は同じなのにどんどん不思議になっていき最後は本当にあり得ない、まさかという状態で同じ事を起こすという（なんともこの文章だけ読んだ人にとっては意味が分からない説明かもしれませんが）とにかく見ると分かります。勿論アンビシャスカードに限らずオリジナルの有名なテクニックも開発しています。また彼はレクチャーにも力を入れていて日本でも何回かレクチャーしている他、数々の質の高い DVD、書籍を残しています。しかしそんな精力的に活動していたダロー氏は 2017 年にハリウッドのマジックキャッスルでの本番前に楽屋で死亡した状態で見つかりました。その衝撃的な死は自殺でした。本当に惜しまれます。



Han Seol-Hui(韓国) FISM2009 マニピュレーション部門 1 位

彼のマジックの特徴は何といっても CD を使うということです。そのビジュアルで派手なパフォーマンスはマジック界に「CD マジック」という新しいジャンルを誕生させました。また、彼は演技にジャグリングやダンスといった要素を上手く取り込んでおり彼の採用する音楽、リズム感、彼のルックスも相まって見る者を魅了します。あなたもきっとノリノリで見る事が出来るでしょう。



あとがき

いかがでしたか？おそらく多くの人にとってブラックボックスで良く分からない世界だったであろうマジックを少しでも身近に感じて頂けたなら幸いです。今は少し前に比べるとテレビでマジックを見る機会は減り、マジックという存在は少し遠いものになってしまったようにも感じるかもしれませんが、一方でインターネットの発展により沢山の情報を誰でも得られるようにもなりました。マジックの世界は無限に広がっていて、その深さは計り知れませんが、その入り口はいつでも開いています。ひとたび少しネットで調べてみれば、そこには果てしないマジックの世界がいつでもあなたを待っています。そしてそこに一歩踏み入れてみれば、数えきれない程のマジシャンが何千年もかけて築き上げてきた芸術にあなたは魅了される事でしょう。

最後までお読みいただきありがとうございました。この部誌が皆さんのそうしたきっかけとなったのであればこれほどうれしいことはありません。(文責 部長 岩本)